

## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 GCA株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2174 URL <https://www.gcaglobal.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 渡辺 章博  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室リーダー (氏名) 加藤 雅也 TEL 03-6212-7140  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（Non-GAAP）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	15,478	1.1	2,295	39.0	2,262	36.1	1,732	47.0	1,710	48.7
2018年12月期第3四半期	15,314	-	1,650	-	1,661	-	1,178	-	1,150	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	44.51	39.88
2018年12月期第3四半期	30.27	27.45

#### (2) 連結経営成績（IFRS）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	15,478	1.1	2,276	39.3	2,244	36.4	1,714	47.5	1,691	49.2
2018年12月期第3四半期	15,314	-	1,634	-	1,645	-	1,162	-	1,134	-

	四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	927	3.8	44.04	39.46
2018年12月期第3四半期	893	-	29.84	27.07

#### (3) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	30,656	20,236	20,026	65.3
2018年12月期	33,853	21,289	21,101	62.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	-	17.50	-	17.50	35.00
2019年12月期	-	17.50	-	-	-
2019年12月期（予想）	-	-	-	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

（1）連結業績予想（Non-GAAP）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益  円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	23,000	△13.8	3,400	△11.8	3,400	△12.1	2,400	△15.9	2,400	△14.7	63.12

（2）連結業績予想（IFRS）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益  円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	23,000	△13.8	3,350	△3.7	3,350	△4.1	2,350	△5.2	2,350	△3.7	61.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

上記に記載したNon-GAAP予想値はIFRS予想値から非経常的な項目（50百万円）を控除した連結業績予想であります。これに伴い、営業利益、税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益はNon-GAAPベースにおいて同額増加いたします。詳細については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご参照願います。予想値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、状況の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

IFRSにより要求される会計方針の変更については【添付資料】P.13（会計方針の変更）をご参照願います。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	41,153,325株	2018年12月期	38,961,752株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	1,964,922株	2018年12月期	888,901株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	38,419,777株	2018年12月期3Q	38,004,328株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、経営者が意思決定する際に使用する社内指標（以下「Non-GAAP指標」といいます。）及びIFRSに基づく指標（以下「IFRS指標」といいます。）の双方によって、連結経営成績を開示いたします。

Non-GAAPに基づく営業利益（以下「Non-GAAP営業利益」といいます。）は、IFRSに基づく営業利益（以下「IFRS営業利益」といいます。）から、当社グループが定める非経常的な項目を控除したものです。経営者は、Non-GAAP指標を開示することで、ステークホルダーにとって同業他社比較や過年度比較が容易になり、当社グループの恒常的な経営成績や将来見通しを理解する上で、有益な情報を提供できると判断しております。なお、非経常的な項目とは、一定のルールに基づき将来見通し作成の観点から除外すべきと当社グループが判断する一過性の利益や損失のことです。

なお、前第3四半期まで当社グループは日本基準（以下「J-GAAP指標」といいます。）によって連結経営成績を開示しており、Non-GAAP指標とJ-GAAP指標との間には「のれんの償却」等の大きな乖離がありました。前連結会計年度末よりIFRSへ移行したことによりNon-GAAP指標とIFRS指標において大きな乖離はなくなり、概ね同等の数値となっておりますが、これまでとの継続性の観点から引き続きNon-GAAP指標を開示してまいります。

#### ①当期の経営成績（Non-GAAPベース）

当第3四半期連結累計期間における世界のM&A市場は、完了案件数、金額が前年同期比それぞれ11%、2%減少いたしました。市場推移を見ますと、日本の完了案件数は前年同期比で14%減少したものの、金額では8%の増加（武田薬品工業株式会社によるShire社の買収案件を除く）、米国の完了案件数は前年同期比で15%減少したものの、金額ではほぼ横ばい、EMEAの完了案件数は前年同期比で9%の減少、金額でも9%の減少となっております（リフィニティブ（旧トムソン・ロイター）調べ）。

アドバイザー事業の売上は、欧州地域の売上は前年同期比で減少したものの、日本地域及び米国地域にて売上が増加したことから、前年同期比で1%の増加となりました。上記3地域の中では、中国、インド、東南アジア等アジア拠点を含む日本地域の売上の寄与が最も大きく、2018年度に現地法人を設立したベトナムとのクロスボーダー案件で大型案件を含む複数案件の売上が計上されたことや米国等海外クロスボーダー案件の売上が計上されたことから、日本地域では売上が前年同期比で大幅に増加しております。また、当社グループ全体の営業利益についても、前年同期比39%の増加となっております。

受注に関しては、日本地域、米国地域ともに新規受注が堅調に推移しているほか、欧州地域においても売り案件の受注増加が継続しており、グローバル全体で引き続き高水準を維持しております。当連結会計年度に現地法人を開業したフランスや国内事務所を開業した福岡のほか、事業承継案件に特化する専門子会社として設立したGCAサクセッション株式会社でも既に受注を獲得しており、今後、当社グループの売上に寄与する見込みです。

こうした経営環境の中で当社グループでは、クライアントにとって最善のM&A案件を提案・成約する機能の強化に引き続き取り組んでおります。

当社グループは、独立系M&Aアドバイザーファームとしてグローバルにビジネスを展開しながら成長して参りましたが、今後ますます多国籍化するM&Aマーケットにおいて事業展開をより機動的に行うことを目的に、2019年7月1日を効力発生日として事業持株会社である当社の日本・アジア事業及びその関連子会社を新設分割設立会社であるGCAアドバイザーズ株式会社に移管し、純粋持株会社体制へ移行いたしました。かかる移行に伴い、当社は完全子会社としてM&Aアドバイザー事業を行う日本地域の事業会社を欧米の事業会社と並列に擁することとなります。また、当第3四半期連結累計期間において国内に京都事務所を開業いたしました。これにより、全世界の拠点数も当第3四半期末時点で22拠点（うち国内5拠点、海外17拠点）へと増加しております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、Non-GAAPベースで売上収益15,478百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益2,295百万円（同39.0%増）、税引前四半期利益2,262百万円（同36.1%増）、四半期利益1,732百万円（同47.0%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益1,710百万円（同48.7%増）となりました。

## ②Non-GAAP指標からIFRS指標への調整

当第3四半期連結累計期間において、Non-GAAP指標にて調整される非経常的な項目には、GCA Altiumとの経営統合により発生した株式報酬費用18百万円を含めております。Non-GAAP営業利益からIFRS営業利益への調整は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	2019年第3四半期	2018年第3四半期	前年同四半期比	増減率 (%)
Non-GAAP営業利益	2,295	1,650	644	39.0
非経常的な項目	△18	△16	△1	-
IFRS営業利益	2,276	1,634	642	39.3

また、当社グループはアセットマネジメント(\*1)事業セグメントとして、メザニン(\*2)ファンドを運営しております。当第3四半期連結会計期間末におけるファンド投資残高は以下のとおりです。

(メザニンファンド投資残高)

	営業投資有価証券		営業貸付金		合計	
	件	百万円	件	百万円	件	百万円
当第3四半期連結会計期間末 ファンドによる投資(件数・金額)	4	9,308	6	23,668	8	32,976

注) 営業投資有価証券及び営業貸付金双方の投資を実施している投資先が2件存在する為、投資先合計件数は8件となります。

(\*1) アセットマネジメント・・・投資家に代わって資産の効率的な運用を行う業務のこと。また、投資家から資金を集め、出資を行うことを目的とした組合をファンド(投資事業組合)という。

(\*2) メザニン・・・メザニン(Mezzanine)とは「中二階」の意味であり、メザニンファイナンスは、シニアローン(通常融資)とエクイティ(普通株式)の中間に位置する資金調達方法をいう。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における資産合計は30,656百万円となり、前連結会計年度末比3,197百万円の減少となりました。その主な要因は、賞与、税金及び配当金等の支払による現金及び現金同等物の減少額4,831百万円、営業債権及びその他の債権の減少額1,929百万円及びIFRS第16号適用等に伴う有形固定資産の増加額3,240百万円によるものであります。なお、資本合計は20,236百万円となっております。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は10,997百万円(前連結会計年度末は15,829百万円)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果支出した資金は1,320百万円(前年同四半期は815百万円の支出)となりました。これは主に、税引前四半期利益2,244百万円を計上したこと及び、営業債権及びその他の債権の減少額が1,870百万円、賞与支払等に伴うその他の流動負債の減少額が5,362百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は182百万円(前年同四半期は578百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が185百万円あったことによるものであります。なお、今後予定する重要な資本的支出はありません。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は2,819百万円(前年同四半期は1,198百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額が1,342百万円、自己株式の取得による支出が789百万円及びリース負債の支払額が678百万円あったことによるものであります。

## (4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

Non-GAAP連結業績予想(通期)からIFRS連結業績予想(通期)への調整は以下の通りであります。

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
Non-GAAP業績予想	23,000	△13.8	3,400	△11.8	3,400	△12.1	2,400	△15.9	2,400	△14.7	円 銭 63.12
非経常的な項目	-	-	△50	-	△50	-	△50	-	△50	-	-
IFRS業績予想	23,000	△13.8	3,350	△3.7	3,350	△4.1	2,350	△5.2	2,350	△3.7	61.81

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。主要海外事業の現地通貨建の項目は、為替レートを110円/USドル、145円/英ポンドにより円換算しております。為替変動が当社グループの業績及び財務状況に影響を与える可能性があり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。本株式による投資判断は、慎重に検討した上で行われる必要があると考えられます。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	15,829	10,997
営業債権及びその他の債権	3,979	2,049
その他の金融資産	356	502
未収法人所得税等	206	573
その他の流動資産	337	396
流動資産合計	20,709	14,520
非流動資産		
有形固定資産	1,243	4,483
のれん及び無形資産	9,586	9,048
その他の金融資産	1,264	1,240
その他の非流動資産	277	360
繰延税金資産	772	1,001
非流動資産合計	13,143	16,136
資産合計	33,853	30,656



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	448	739
借入金	65	64
その他の金融負債	224	847
未払法人所得税等	749	474
その他の流動負債	10,441	4,877
流動負債合計	11,929	7,003
非流動負債		
借入金	32	19
その他の金融負債	26	2,904
退職給付に係る負債	275	355
引当金	133	133
その他の非流動負債	166	3
非流動負債合計	634	3,416
負債合計	12,563	10,419
資本		
資本金	304	1,021
資本剰余金	13,855	13,740
利益剰余金	4,613	4,959
自己株式	△795	△1,585
その他の資本の構成要素	3,123	1,890
親会社の所有者に帰属する持分合計	21,101	20,026
非支配持分	187	210
資本合計	21,289	20,236
負債及び資本合計	33,853	30,656

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上収益	15,314	15,478
売上原価	△11,640	△10,989
売上総利益	3,673	4,488
販売費及び一般管理費	△2,028	△2,169
その他の営業収益	21	4
その他の営業費用	△31	△45
営業利益	1,634	2,276
金融収益	11	38
金融費用	△0	△71
税引前四半期利益	1,645	2,244
法人所得税費用	△483	△529
四半期利益	1,162	1,714
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,134	1,691
非支配持分	28	22
四半期利益	1,162	1,714
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	29.84	44.04
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	27.07	39.46

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益	1,162	1,714
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	0	0
純損益に振り替えられることのない項目 合計	0	0
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△268	△786
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△268	△786
税引後その他の包括利益	△268	△786
四半期包括利益	893	927
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	865	905
非支配持分	28	22
四半期包括利益	893	927

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
					在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	新株予約権	その他の資本の構成要素合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年1月1日時点の残高	258	13,811	3,504	△795	698	-	2,924	3,623
四半期利益			1,134					
その他の包括利益					△268	0		△268
四半期包括利益合計	-	-	1,134	-	△268	0	-	△268
新株の発行	45	45						
株式発行費用		△1						
自己株式の取得								
配当金			△1,330					
株式報酬取引							229	229
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			0			△0		△0
所有者との取引額合計	45	44	△1,330	-	-	△0	229	229
2018年9月30日時点の残高	304	13,855	3,308	△795	430	-	3,154	3,584

## 親会社の所有者に帰属する持分

	合計		非支配持分	資本合計
	百万円			
2018年1月1日時点の残高	20,402		147	20,550
四半期利益	1,134		28	1,162
その他の包括利益	△268			△268
四半期包括利益合計	865		28	893
新株の発行	90			90
株式発行費用	△1			△1
自己株式の取得	-			-
配当金	△1,330			△1,330
株式報酬取引	229			229
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-			-
所有者との取引額合計	△1,011		-	△1,011
2018年9月30日時点の残高	20,257		176	20,433

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
					在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	新株予約権	その他の資本の構成要素合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年1月1日時点の残高	304	13,855	4,613	△795	△389	-	3,513	3,123
四半期利益			1,691					
その他の包括利益					△786	0		△786
四半期包括利益合計	-	-	1,691	-	△786	0	-	△786
新株の発行	716	△112					△595	△595
株式発行費用		△2						
自己株式の取得				△789				
配当金			△1,346					
株式報酬取引							149	149
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			0			△0		△0
所有者との取引額合計	716	△114	△1,346	△789	-	△0	△446	△446
2019年9月30日時点の残高	1,021	13,740	4,959	△1,585	△1,176	-	3,066	1,890

## 親会社の所有者に帰属する持分

	合計		非支配持分	資本合計
	百万円			
2019年1月1日時点の残高	21,101		187	21,289
四半期利益	1,691		22	1,714
その他の包括利益	△786			△786
四半期包括利益合計	905		22	927
新株の発行	8			8
株式発行費用	△2			△2
自己株式の取得	△789			△789
配当金	△1,346			△1,346
株式報酬取引	149			149
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-			-
所有者との取引額合計	△1,980		-	△1,980
2019年9月30日時点の残高	20,026		210	20,236

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,645	2,244
減価償却費及び償却費	217	859
受取利息及び配当金	△11	△38
支払利息	0	71
株式報酬費用	230	18
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△916	1,870
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	178	312
その他の流動負債の増減(△は減少)	△1,627	△5,362
その他	△10	△43
小計	△293	△69
利息及び配当金の受取額	11	38
利息の支払額	△0	△71
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払額)	△533	△1,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	△815	△1,320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△237	△185
長期貸付けの実行による支出	△324	-
その他	△16	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△578	△182
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50	-
新株予約権の行使による収入	89	2
自己株式の取得による支出	-	△789
配当金の支払額	△1,331	△1,342
リース負債の支払額	-	△678
その他	△5	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,198	△2,819
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,591	△4,322
現金及び現金同等物の期首残高	12,724	15,829
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△152	△508
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,979	10,997

- (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

当社グループは2019年1月1日を適用開始日としてIFRS第16号を適用しております。その結果、下記に記載のとおりリースに関する会計方針を変更いたしました。当社グループは適用開始による累積的影響を2019年1月1日の剰余金において認識する修正遡及アプローチを用いてIFRS第16号を適用いたしました。

IFRS第16号への移行にあたり、当社グループは、取引がリースであるか否かに関する従前の判定を引き継ぐ実務上の便法を適用することを選択いたしました。従来リースとして識別されていた契約にのみIFRS第16号を適用し、IAS第17号及びIFRIC第4号のもとでリースとして認識されなかった契約については、リースであるか否かの再評価を行っておりません。したがって、IFRS第16号に基づくリースの定義は、2019年1月1日以降に締結または変更された契約にのみ適用しております。

## ① 借手としてのリース

当社グループは借手として、従来、原資産の所有に伴うリスクと経済価値が実施的にすべて当社グループに移転するか否かの評価に基づいて、リースをオペレーティング・リースとファイナンス・リースに分類していました。IFRS第16号では、当社グループは、ほとんどのリースについて使用権資産とリース負債を認識しております。

当社グループは、リース期間が12か月以内の短期リース及びIT機器のリースを含む少額資産のリース資産について、認識の免除規定を適用しております。IAS第17号のもとでオペレーティング・リースに分類されていた他の資産のリースについて、当社グループは使用権資産とリース負債を認識しました。

## i. IAS第17号のもとでオペレーティング・リースに分類されていたリース

移行時のリース負債は、移行日時点の残存リース料総額を2019年1月1日現在の当社グループの追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しました。使用権資産は、リース負債の測定額に、前払リース料と未払リース料を調整した金額で測定しました。

当社グループは、従来のIAS第17号のもとでオペレーティング・リースに分類していたリースにIFRS第16号を適用する際に、以下の実務上の便法を適用しました。

- － 残存リース期間が12ヶ月以内のリースに、使用権資産とリース負債を認識しない免除規定を適用する
- － 適用開始日の使用権資産の測定から当初直接コストを除外する
- － 延長または解約オプションが含まれている契約のリース期間を算定する際に、事後的判断を使用する

## ii. 従来ファイナンス・リースに分類されていたリース

IAS第17号のもとでファイナンス・リースに分類していたリースについて、2019年1月1日現在の使用権資産とリース負債の帳簿価額は、その直前の日におけるIAS第17号に基づくリース資産とリース負債の帳簿価額で算定しております。

## ② 財務諸表への影響

IFRS第16号への移行にあたり、当社グループは、当第1四半期連結会計期間期首において3,871百万円の使用権資産と4,254百万円のリース負債を追加的に認識いたしました。また、従前の会計基準を適用した場合と比較して当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローが678百万円増加し、財務活動によるキャッシュ・フローが678百万円減少しております。

リース負債を測定する際に、当社グループは、2019年1月1日現在の追加借入利率を用いてリース料を割り引きました。適用した利率の加重平均は2.2%です。

(単位：百万円)

2019年1月1日

当社グループの連結財務諸表で開示した2018年12月31日現在のオペレーティング・リースに係るコミットメント額	4,610
2019年1月1日現在の追加借入利率を用いて割り引いた金額	4,256
2018年12月31日に認識したファイナンス・リース債務	34
－ 認識の免除規定	
－ 短期リース	△48
－ 少額資産のリース	△0
－ 行使することが合理的に確実な延長または解約オプション等	46
2019年1月1日に認識したリース負債	4,289



## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しており、サービスの性質、市場等の経済的特徴の類似性に基づき複数の事業セグメントを集約した上で、「アドバイザー事業」、「アセットマネジメント事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントにおける主要なサービスは以下のとおりです。

事業区分	主要サービス
アドバイザー事業	M&Aアドバイザー、デューデリジェンス
アセットマネジメント事業	メザニンファンド運営

## (2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントに関する情報は以下のとおりであります。

「セグメント利益」は、売上収益から売上原価・販売費及び一般管理費を控除しております。

前第3四半期連結累計期間（自 2018年1月1日 至 2018年9月30日）

	報告セグメント			調整額 (注)	連結
	アドバイザー	アセットマネジ メント	計		
	百万円	百万円	百万円		
売上収益					
外部収益	14,860	453	15,314	-	15,314
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	14,860	453	15,314	-	15,314
減価償却費及び償却費	△213	△3	△217	-	△217
その他の損益	△13,106	△345	△13,451	-	△13,451
セグメント利益	1,540	105	1,645	-	1,645
その他の営業収益					21
その他の営業費用					△31
金融収益					11
金融費用					△0
税引前四半期利益					1,645
セグメント資産	26,420	766	27,186	△6	27,180

(注) セグメント資産の調整額△6百万円は、セグメント間取引によるものであります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結
	アドバイザー	アセットマネジ メント	計		
	百万円	百万円	百万円		
売上収益					
外部収益	15,006	471	15,478	-	15,478
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	15,006	471	15,478	-	15,478
減価償却費及び償却費	△842	△16	△859	-	△859
その他の損益	△11,927	△372	△12,300	-	△12,300
セグメント利益	2,236	82	2,318	-	2,318
その他の営業収益					4
その他の営業費用					△45
金融収益					38
金融費用					△71
税引前四半期利益					2,244
セグメント資産	29,805	857	30,662	△6	30,656

(注) セグメント資産の調整額△6百万円は、セグメント間取引によるものであります。